

2003年第21週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾病集計表
- 疾病別グラフ(四類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
— 咽頭結膜熱 —
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 保健所別定点当たり累計表

感染症豆知識

- 破傷風

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



(全数情報)

- ・細菌性赤痢が2件報告された。どちらもソリネ菌で推定感染地はエジプト、アフガニスタン・パキスタンである。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が3件報告された。血清型はO157(VT2産生株)2件(いずれも無症状病原体保菌者)、O26(VT1産生株)1件(老人福祉施設の入所者)である。
- ・アメーバ赤痢が2件報告された。推定感染地は国内、タイで、感染経路は不明である。
- ・急性ウイルス性肝炎が3件報告された。A型1件(推定感染経路:経口感染、推定感染地:インド)とB型2件(推定感染経路:異性間性的接触、不明)である。
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病が1件報告された。孤発性で臨床診断により決定された。推定感染地は国内である。
- ・HIV感染症が6件報告された。AIDS2件、無症候性キャリア4件で、推定感染経路は異性間性的接触2件、同性間性的接触3件、両性間性的接触1件である。
- ・ジアルジア症が2件報告された。推定感染経路は同性間性的接触、不明である。
- ・梅毒が2件報告された。早期顕症梅毒 期、無症候性梅毒で、推定感染経路は異性間性的接触と不明である。
- ・マラリアが3件報告された。三日熱マラリア(推定感染地:インド)、卵型マラリア(推定感染地:アフリカ)、不明が1件ずつである。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点情報)

- ・流行性角結膜炎が増加した。多くは大田区からの報告である。
- ・手足口病が増加している。台東区からの報告が多い。
- ・咽頭結膜熱が増加している。過去5年平均より高い水準である。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加している。

(病原体情報)

- ・流行性角結膜炎1名(32歳)の結膜拭い液、肺炎1名(4歳)、川崎病1名(1歳)の咽頭拭い液、感染性胃腸炎1名(10か月)、急性腸炎1名(30歳)、急性胃炎1名(67歳)のふん便よりアデノウイルスの遺伝子が検出された。
- ・肺炎1名(6か月)、発疹1名(1歳)の咽頭拭い液、咽頭炎1名(2歳)の咽頭拭い液及び糞便よりアデノウイルス2型が分離された。
- ・不明発疹症1名(3歳)の咽頭拭い液よりアデノウイルス3型が分離された。
- ・胃腸炎集団発生の3例において、患者6名からNV(SRSV)が検出された。
- ・定点から搬入された頸管拭い液10検体中3件からパピロームウイルスの遺伝子が検出された。
- ・梅毒特異抗体が65検体中2件、クラミジア・トラコマチス特異抗体が61検体中18件、クラミジア・トラコマチスの遺伝子が6検体中5件、淋菌の遺伝子が55検体中3件検出された。淋菌の遺伝子が検出された3件はクラミジア・トラコマチスの遺伝子も共に検出された。
- ・菌株で搬入されたA群溶血性レンサ球菌3株のT型は1型1株、4型1株、UT1株であった。
- ・多摩地域の定点から搬入された感染性胃腸炎患者1名のふん便より病原大腸菌O128が検出された。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

中野区

・幼児麻疹例あり(3歳)。保育所等入所の際に予防接種歴のチェックが必要と思われる。

練馬区

・麻疹の症例は、全てワクチン未接種でした。5歳男子、9歳男子は兄弟です。

全数届出患者数一覧表 2003年21週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		18週	19週	20週	21週	年累計	21週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クジラ・コンゴ出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	コレラ					2		8
	細菌性赤痢	3	4	2	2	38	5	183
	腸チフス	1				9		27
	パラチフス					2	1	13
	急性灰白髄炎							
	ジフテリア							
三類	腸管出血性大腸菌感染症			2	3	15	65	282
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢	2	1	3	2	42	4	190
	エキノコックス症							11
	黄熱							
	オウム病						2	20
	回歸熱							
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	2	1	2	3	43	5	383
	Q熱					1		3
	狂犬病							
	クリプトスポリジウム症							1
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	4	1	43
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					3		28
	後天性免疫不全症候群	6	7	9	6	136	5	335
	コクシジオイデス症							1
	ジアルジア症		1	2	2	14	1	29
	腎症候性出血熱							
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		10
	先天性風疹症候群							1
	炭疽							
	ツツガムシ病						15	75
	デング熱					3		11
	日本紅斑熱						2	4
	日本脳炎							
	乳児ポツリナス症							
	梅毒	3	1	1	2	31	8	181
	破傷風	1				3		24
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1		26
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
発疹チフス								
マラリア			1	3	12	3	33	
ライム病								
レジオネラ症	1				7		47	
ウエストナイル熱								

医師からの追加届出により増加することがあります(2003/05/29集計)。

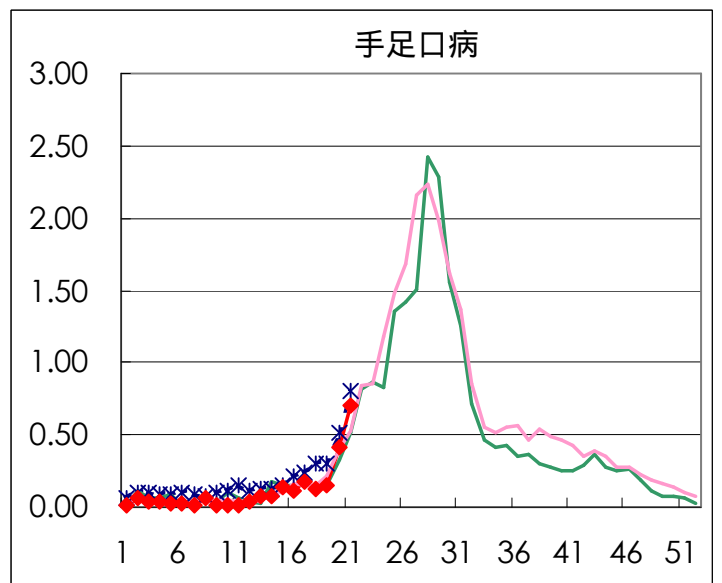
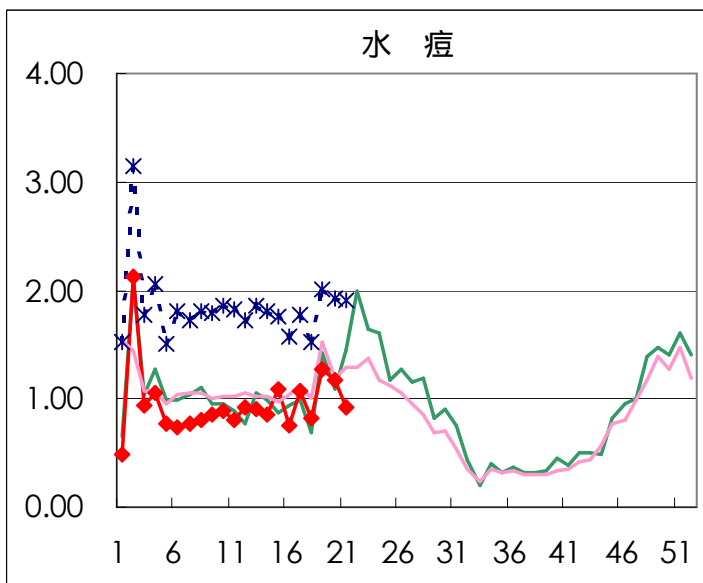
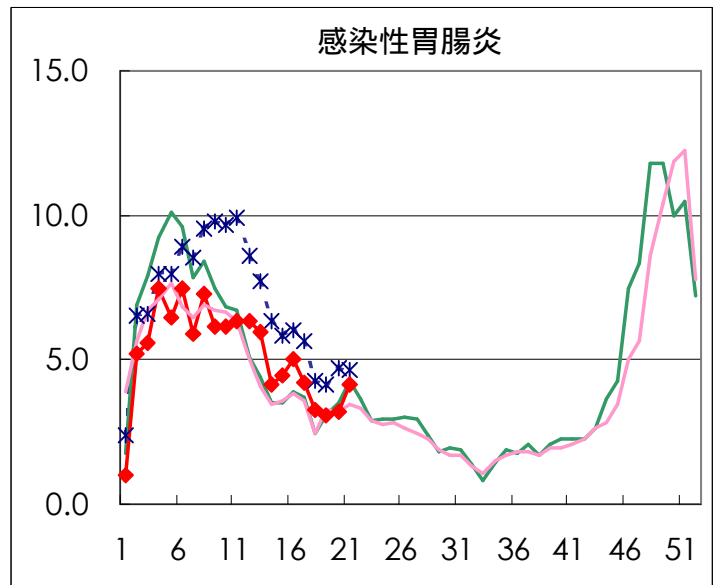
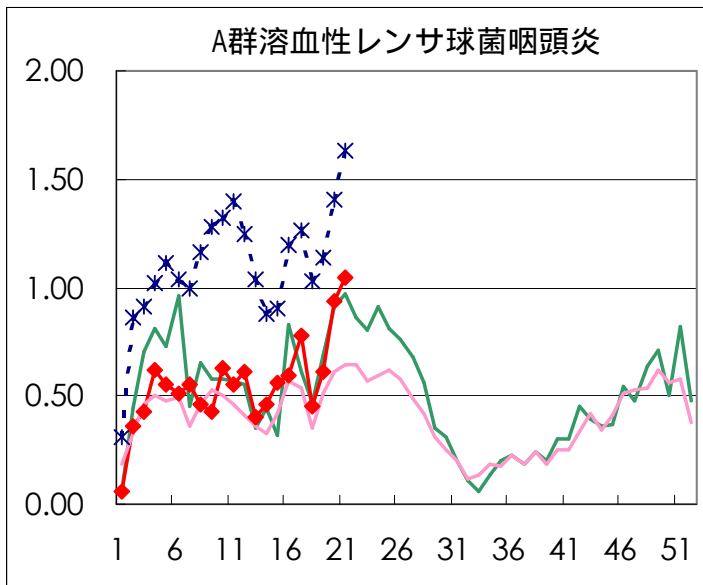
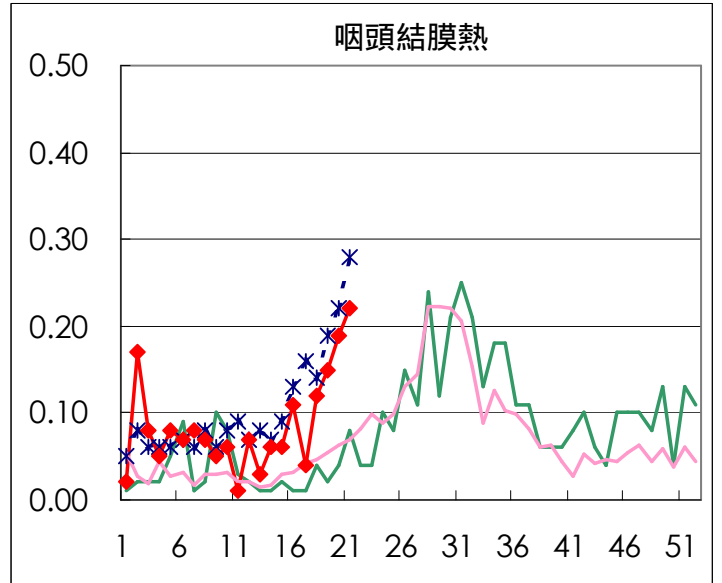
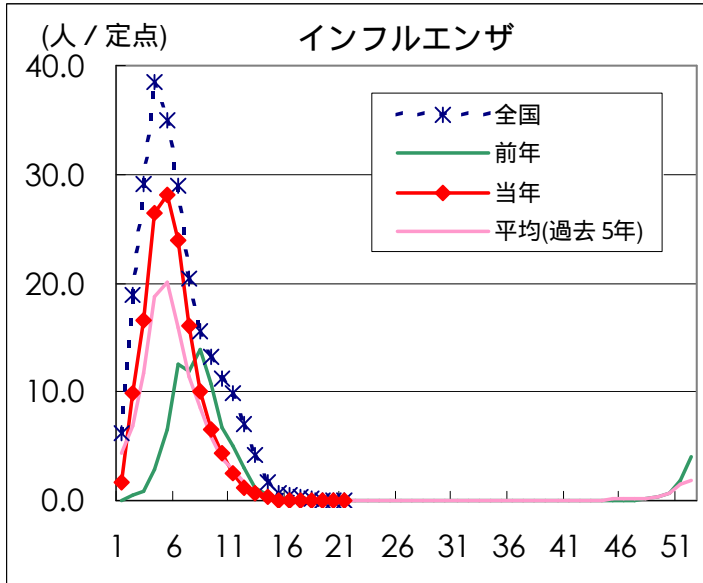
定点報告疾病集計表（男女別）

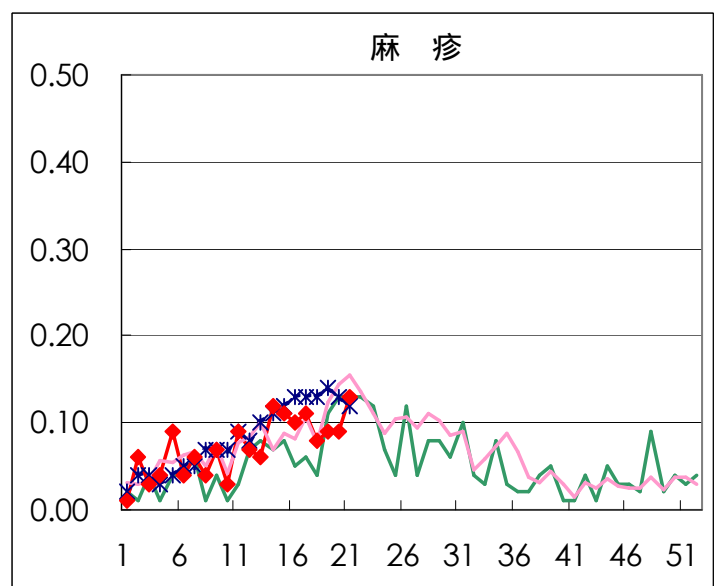
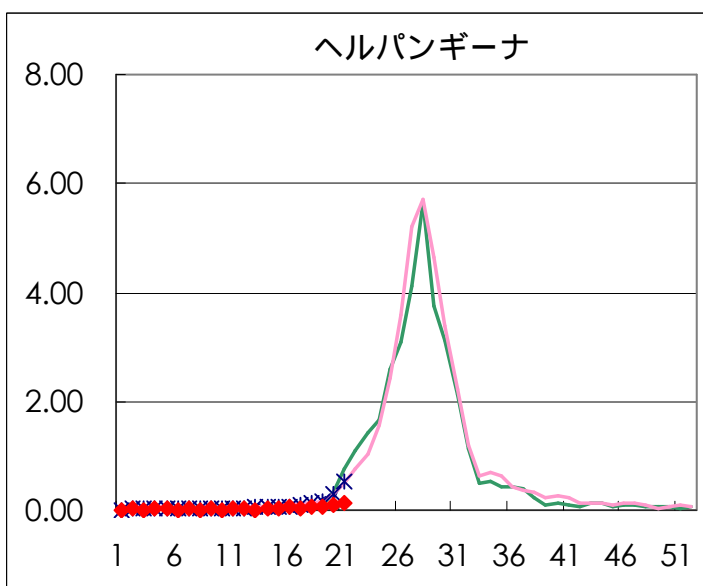
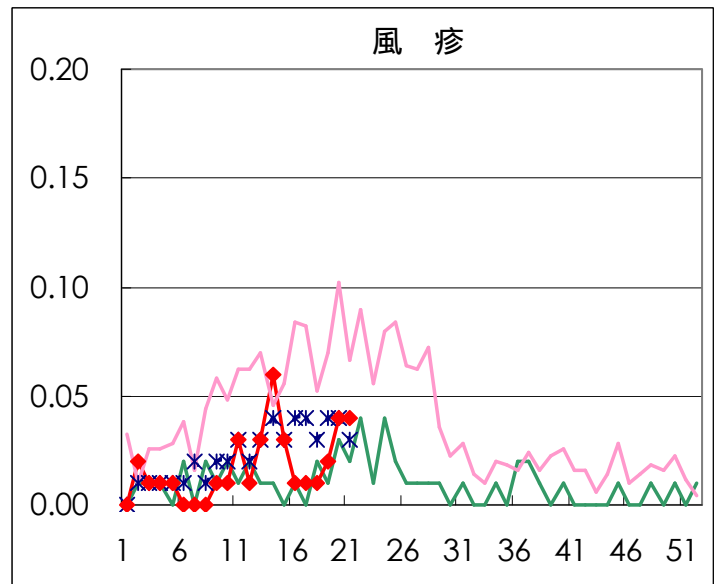
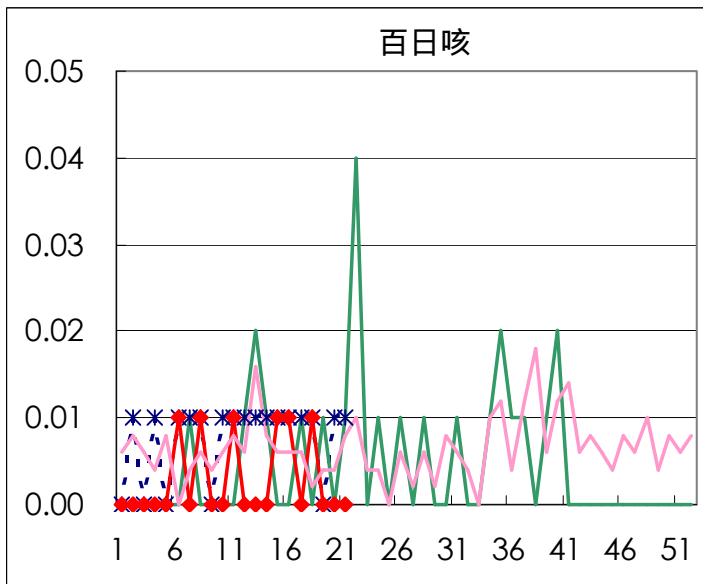
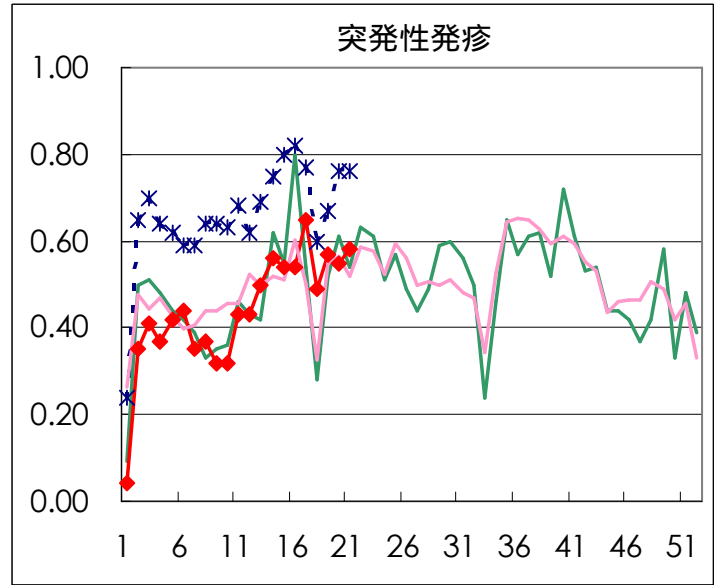
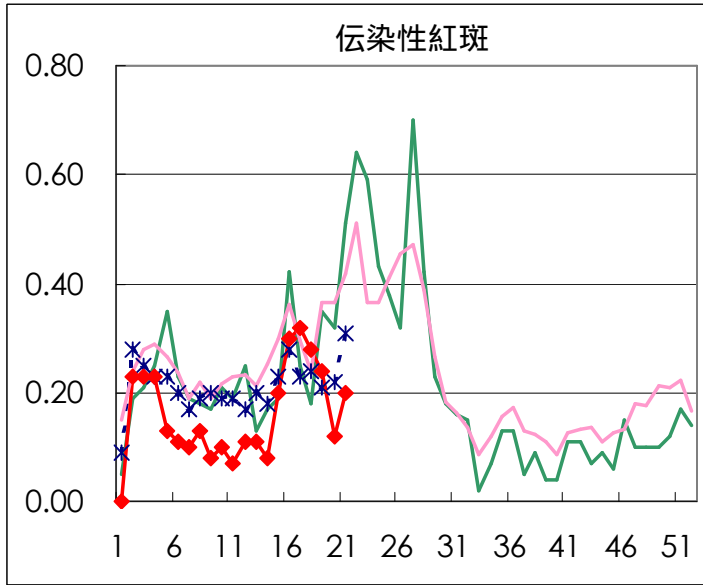
疾病名	性	2003年 週				累計
		18	19	20	21	
インフルエンザ	男					
	女					
咽頭結膜熱	男	9	11	16	16	52
	女	8	10	11	15	44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	43	45	66	80	234
	女	32	42	67	69	210
感染性胃腸炎	男	255	251	216	319	1041
	女	212	186	243	267	908
水痘	男	56	94	93	66	309
	女	61	86	73	65	285
手足口病	男	10	8	32	49	99
	女	7	14	28	51	100
伝染性紅斑	男	18	15	8	17	58
	女	22	19	9	12	62
突発性発疹	男	34	41	47	37	159
	女	37	40	31	46	154
百日咳	男	1				1
	女					
風疹	男	1	1	3	2	7
	女		2	3	3	8
ヘルパンギーナ	男	4	6	9	11	30
	女	3	5	7	7	22
麻疹(成人以外)	男	6	5	7	13	31
	女	4	8	6	6	24
流行性耳下腺炎	男	12	16	17	12	57
	女	9	14	8	14	45
不明発疹症	男	6	4	9	1	20
	女	4	5	2	5	16
M C L S	男			1	1	2
	女		1	1	4	6
急性出血性結膜炎	男					
	女	1	1			2
流行性角結膜炎	男	8	10	15	27	60
	女	5	5	12	30	52
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男	1			1	2
	女			1		1
無菌性髄膜炎	男			1		1
	女	1				1
マイコプラズマ肺炎	男	2	1		1	4
	女	4	1	1	2	8
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男	3		4		7
	女	1		3	4	8

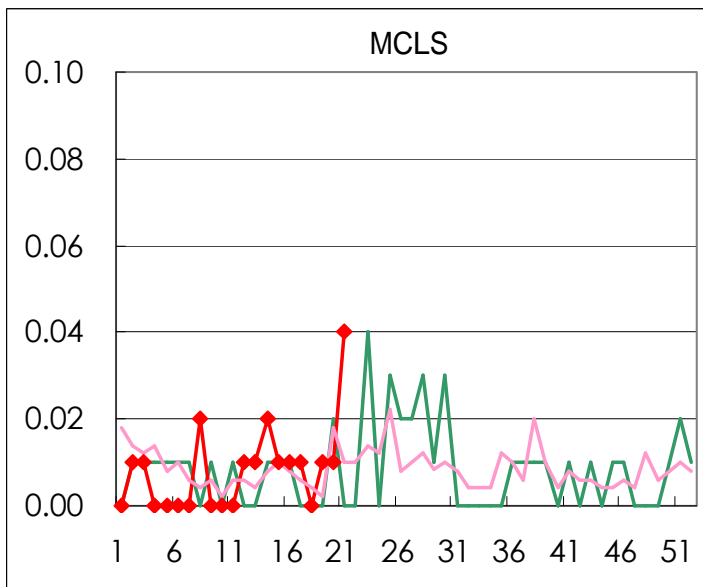
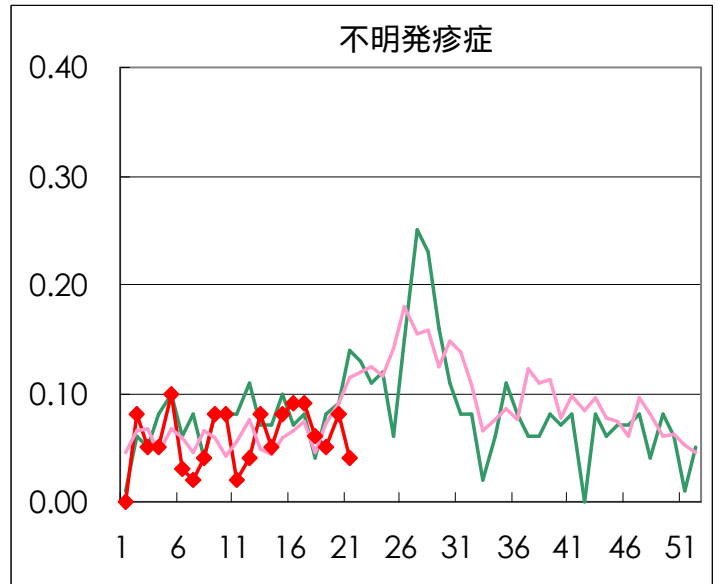
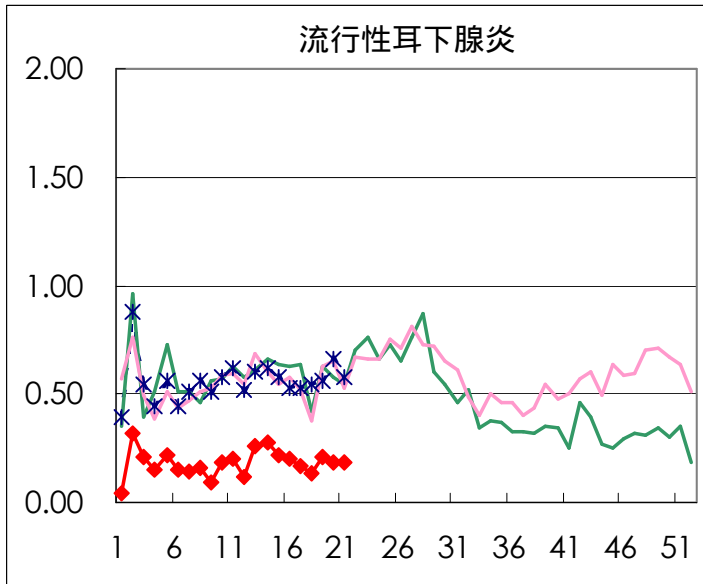
「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

疾病別グラフ (四類定点週報告分)

小児科・インフルエンザ定点

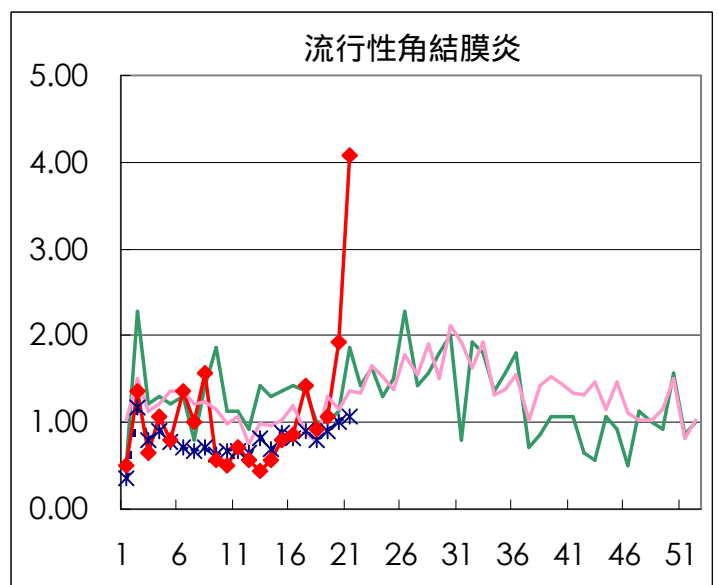
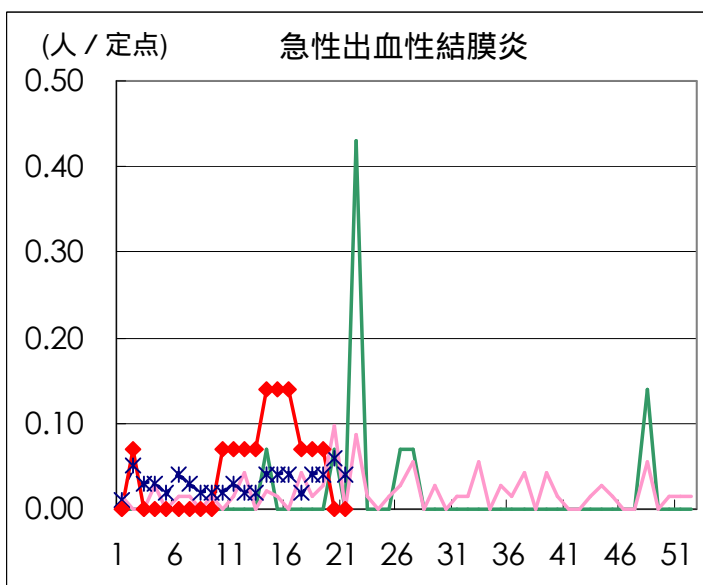




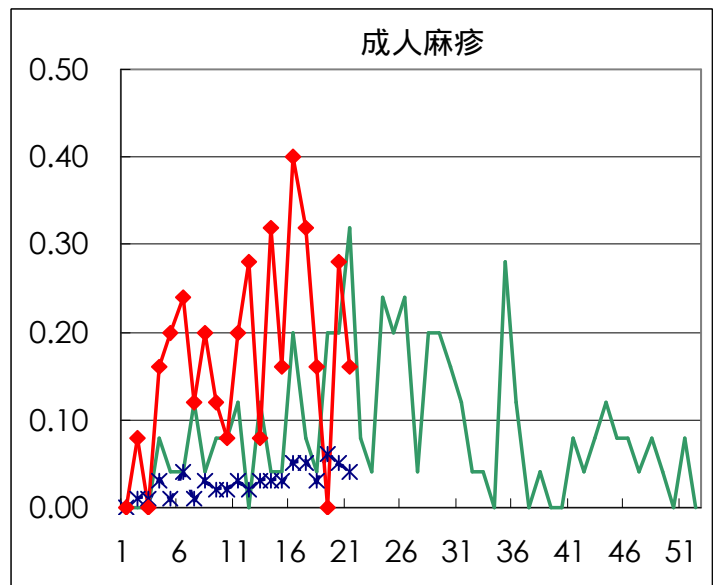
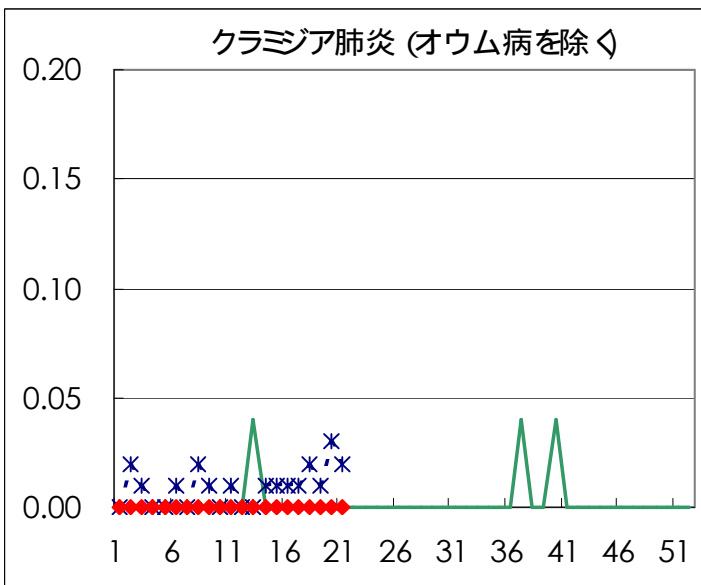
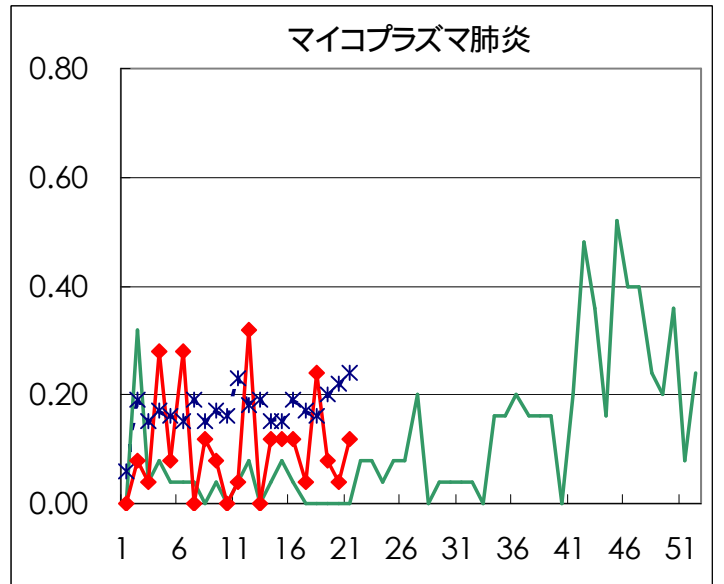
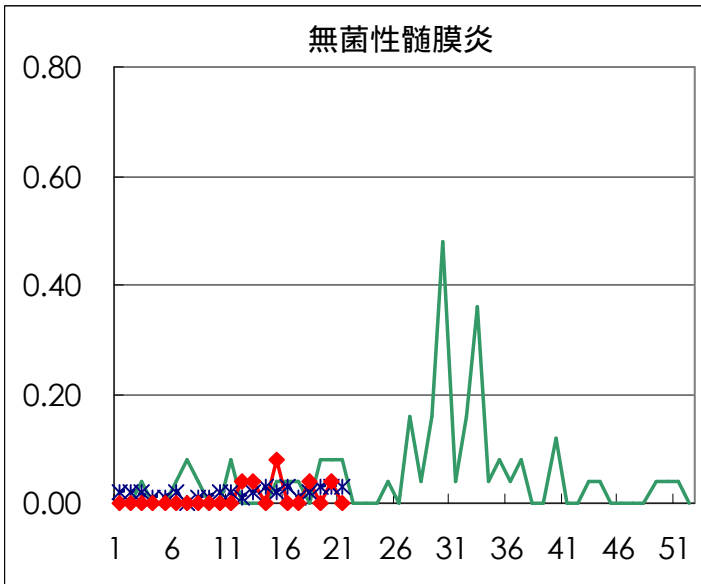
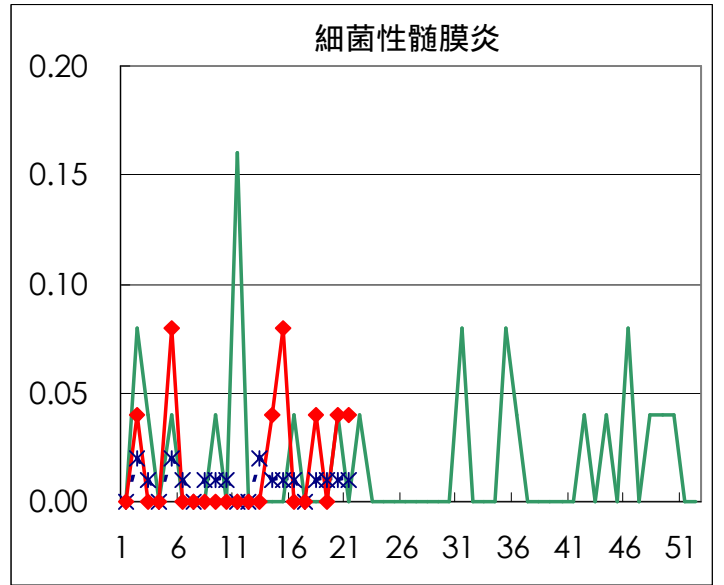
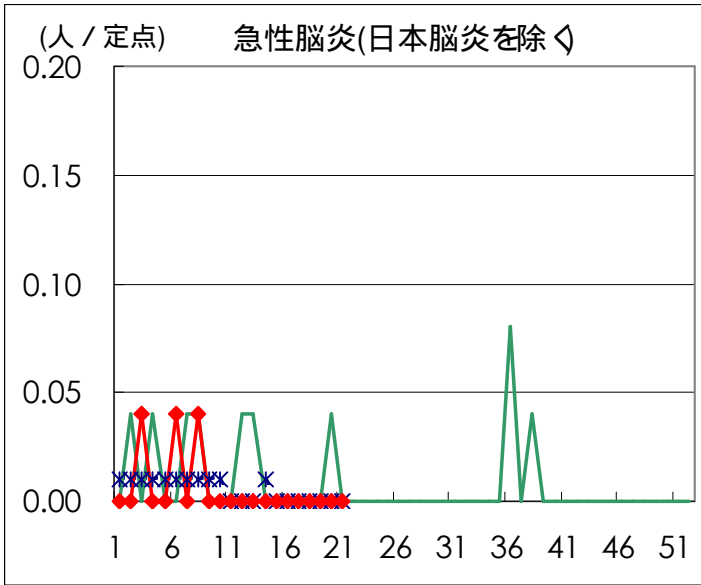


疾病別の定点医療機関数 (週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
小児科	成人麻疹	142
	上記を除く疾病	

眼科定点



基幹定点



病原体検出情報

週別病原体 抗体検出結果 (2003年 14~ 21週)

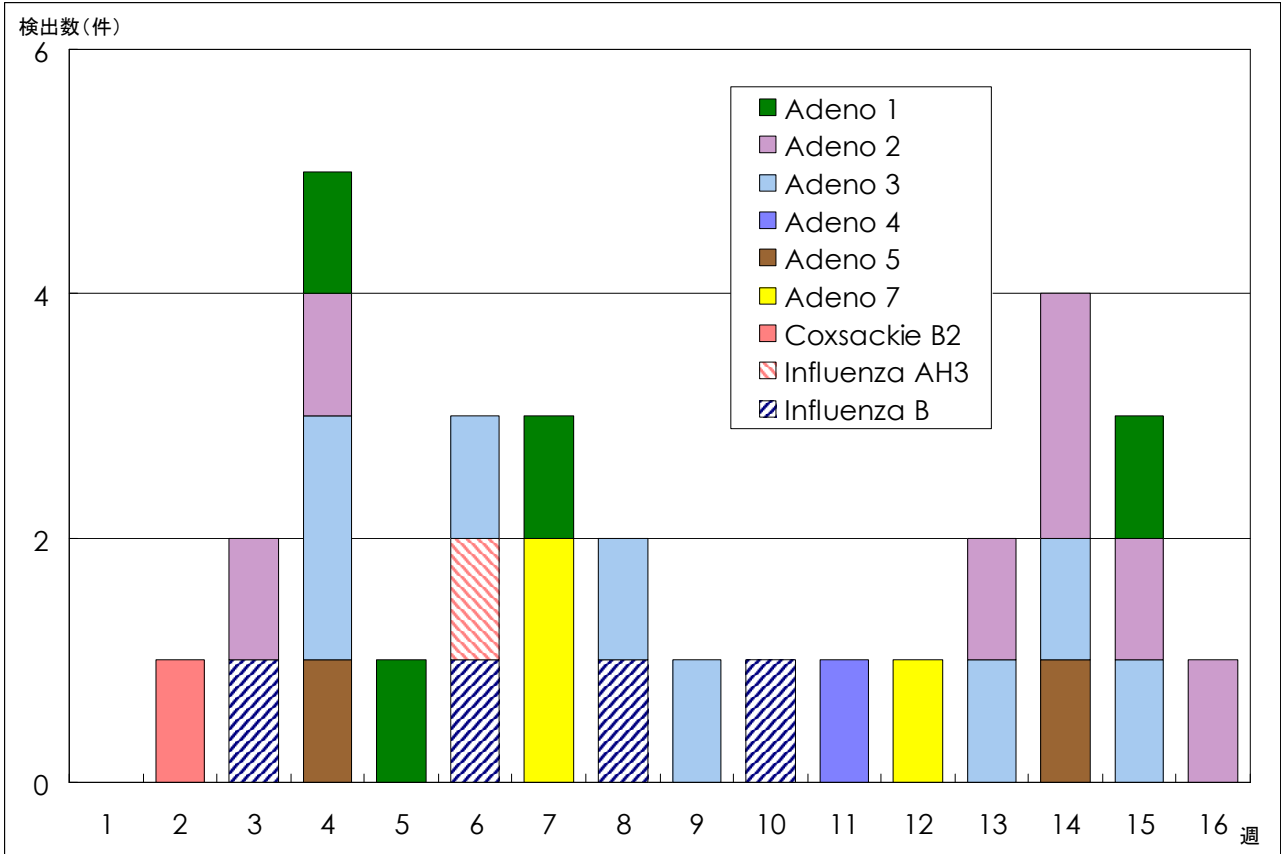
検出病原体 抗体		検体採取週								合計	
		2003年									
		14	15	16	17	18	19	20	21		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型										
	インフルエンザB型										
	RSV										
	アデノ	2	3	4	1	1		5	6	22	
	エンテロ				1			2	2	5	
	ノーウォーク (RSV)	63	25	72	15	17	9	15	7	223	
	ロタ	1	1	12	1					15	
	単純ヘルペス	1	1	1			1			4	
	水痘 帯状疱疹										
	EBV	1	1				2	2		6	
	CMV	1		1	1			1		4	
	HHV6/7	1	1	1		1	3	3	5	15	
	ムンプス	2		1		1				4	
	麻疹	1	1				1			3	
	パルボB19	1							1	2	
	分離型別	ポリオ1									
		ポリオ2									
		アデノ1			2						2
		アデノ2			1			1	2		4
		アデノ3				1	1	1			3
		エコー13									
		コクサッキーA6									
	抗体	デング	2								2
		ツツガムシ									
	電顕										
	細菌	カンピロバクター									
サルモネラ											
下痢原性大腸菌									1	1	
エロモナス											
O157											
MRSAコアグララーゼ 型		2		1	1		1			5	
MRSAコアグララーゼ 型		4	3	4	5			2	3	21	
MRSAコアグララーゼ 型					1				1	2	
MSSAコアグララーゼ 型				1					1	2	
溶連菌 T-1型					1			1		2	
溶連菌 T-3型											
溶連菌 T-4型						1			1	2	
溶連菌 T-6型								1		1	
溶連菌 T-12型		1	1			1		1		4	
溶連菌 T-22型											
溶連菌 T-25型											
溶連菌 T-28型		1	1	1			1		4		
溶連菌 UT											
性感染症	梅毒	1						1	2	4	
	クラミジア抗体	24	17	12	14	28	15	39	18	167	
	クラミジア遺伝子	1	1	3	1			2	5	13	
	淋菌遺伝子			1	1			3	3	8	
	パピローマ		2	4	4	2	5	3	3	23	

臨床診断名別病原体検出結果 (2003年 14~ 21週)

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (脳炎を 含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	球菌性咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型																		
インフルエンザB型																		
RSV																		
アデノ		2	7	1		4						1					7	22
アデノ1			2															2
アデノ2		1	2									1						4
アデノ3				1								1					1	3
エンテロ		2	1							1		1						5
エコー 13																		
コクサッキー A6																		
ポリオ 1																		
ポリオ 2																		
ムンプス													1				3	4
ノーウォーク (SRSV)						223												223
ロタ			1			14												15
単純ヘルペス		1													2		1	4
水痘 帯状疱疹																		
パルボ B 19												1					1	2
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
下痢原性大腸菌						1												1

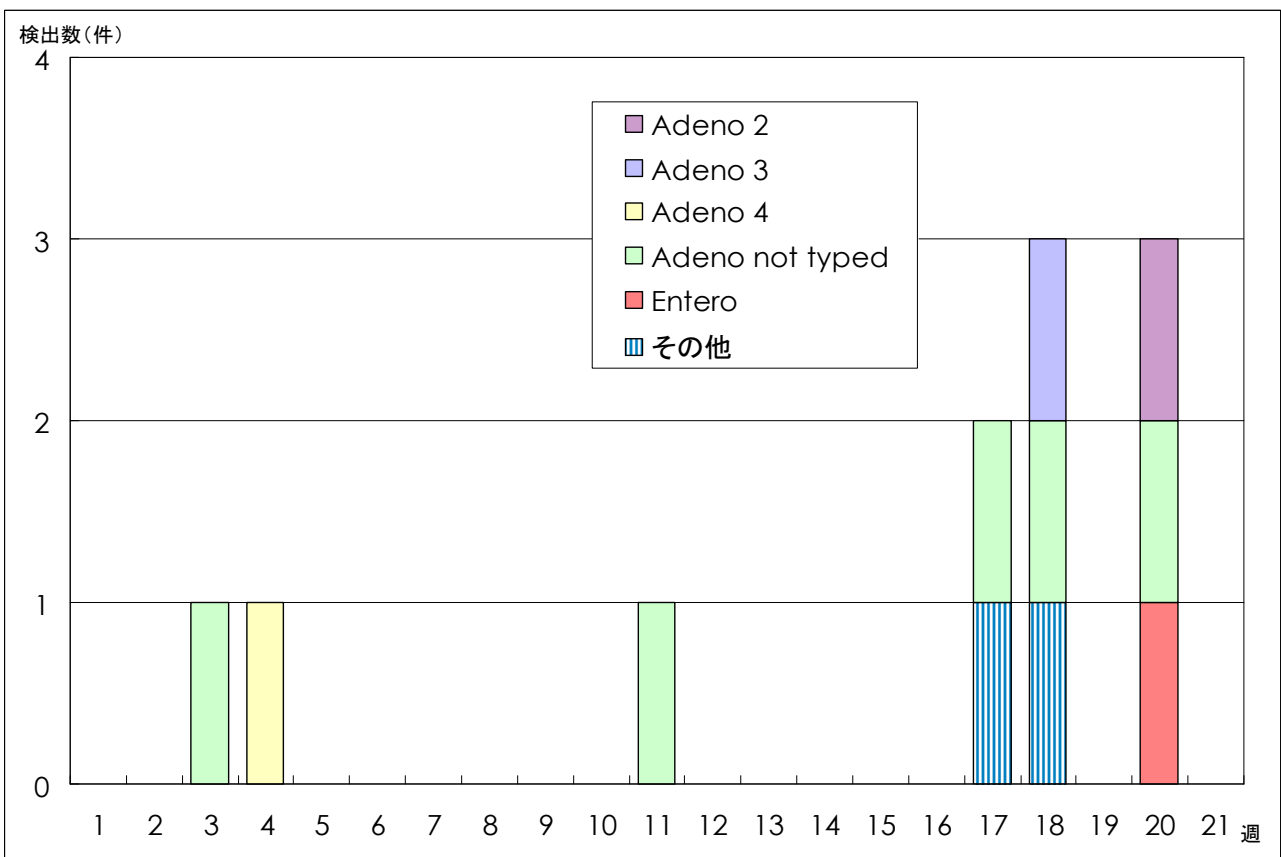
病原体グラフ (咽頭結膜熱)

咽頭結膜熱患者から検出されたウイルス (全国)



LASR 病原微生物検出情報 (2003年5月26日現在報告数)

咽頭結膜熱患者から検出されたウイルス (東京都)



微生物部ウイルス研究科

年齢階級別累計表 (2003年 21週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～6ヶ月				9	1	1	1	6									1
～1歳				28	9	3	5	46			2	3			1	2	
1歳		6	1	53	27	18	2	27			9	5				2	1
2歳		7	8	60	31	16	1	3			2		2			1	1
3歳		7	14	67	27	19	6	1			3	2	5				
4歳		6	21	67	13	14	3						3				1
5歳		3	23	50	7	8	3					4	7				1
6歳			23	38	9	7	2						4		1		
7歳			16	40	2	6	2					2	1				
8歳			16	35	1	3	3			1			1				
9歳			7	18	1	1						2					
10～14歳		1	12	43	1	1	1			3		1	1		2	1	
15～19歳			3	18							1				1		
20～29歳		1	5	60	2	3				1	1		2		5		
30～39歳															6		
40～49歳															5		
50～59歳															6		
60～69歳															10		
70～79歳															20		
80歳以上																	
合計	0	31	149	586	131	100	29	83	0	5	18	19	26	0	57	6	5
先週比	0	4	16	127	-35	40	12	5	0	-1	2	6	1	0	30	-5	3

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2003年 21週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田				2							1							3
中央区			1	17	3	2		5				1	1					30
みなと		1	5	1	3			2			1		1					14
新宿区			5	39	1	1		1				1			2	1		51
文京			2	6	2			1					1		5			17
台東			9	20	6	61	1	3					1					101
墨田区			1	6	1	13		1										22
江東区		2	5	32	2	2		4							1	1		49
品川区		2	4	38	5		3	1										53
目黒区			2	2	3		1	1										9
大田区		12	14	38	5			8		2		3	2		36	2		122
世田谷区		1	4	37	3		4	1		1		4						55
渋谷区				23	4		2	3		1	1							34
中野区			3	32	5		3	3				1	1					48
杉並			3	22	3		1	3										32
池袋				4	1		2						1		4			12
北区		3	8	27	4	3		5		1	3	1	1				1	57
荒川区			1	5											1		2	9
板橋区		1		4	2	2												9
練馬区			11	11	6		4	8				3	1					44
足立			5	14	3	1		3			2	2						30
葛飾			13	30	14	5	2	3			2		3					72
江戸川		7	12	19	12	2	1	4			1		1			2	1	62

保健所別累計表 (2003年 21週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
多摩川			9	6	11			4					1					31
秋川			11	14	4								2					31
八王子		2	2	2	2		1				3		1					13
南多摩			3	24	5	1		5			4	1						43
町田			1	25	3								1		5			35
多摩立川			2	6	2							1	1					12
村山大和			2	16	1		1								2			22
府中小金井				3				1										4
狛江調布			1	9	1	3		2				1	2					19
三鷹武蔵野			4	9	6			2					4					25
多摩小平			4	19	4	1		4									1	33
多摩東村山			2	24	4	3	3	2							1			39
島しょ								3										3

東京都合計	-	31	149	586	131	100	29	83	-	5	18	19	26	-	57	6	5	1245
定点当り報告数	-	0.22	1.05	4.13	0.92	0.70	0.20	0.58	-	0.04	0.13	0.13	0.18	-	4.07	0.04	0.04	

保健所別累計表 (定点当り) 2003年 21週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田				0.50							0.25						
中央区			0.33	5.67	1.00	0.67		1.67				0.33	0.33				
みなと		0.17	0.83	0.17	0.50			0.33			0.17		0.17				
新宿区			0.83	6.50	0.17	0.17		0.17				0.17			1.00	0.17	
文京			0.67	2.00	0.67			0.33					0.33		5.00		
台東			3.00	6.67	2.00	20.33	0.33	1.00					0.33				
墨田区			0.33	2.00	0.33	4.33		0.33									
江東区		0.67	1.67	10.67	0.67	0.67		1.33							1.00	0.33	
品川区		0.33	0.67	6.33	0.83		0.50	0.17									
目黒区			0.67	0.67	1.00		0.33	0.33									
大田区		1.33	1.56	4.22	0.56			0.89		0.22		0.33	0.22		36.00	0.22	
世田谷区		0.13	0.50	4.63	0.38		0.50	0.13		0.13		0.50					
渋谷区				5.75	1.00		0.50	0.75		0.25	0.25						
中野区			0.50	5.33	0.83		0.50	0.50				0.17	0.17				
杉並			0.50	3.67	0.50		0.17	0.50									
池袋				0.80	0.20		0.40						0.20		4.00		
北区		0.75	2.00	6.75	1.00	0.75		1.25		0.25	0.75	0.25	0.25				0.25
荒川区			0.50	2.50											1.00		1.00
板橋区		0.17		0.67	0.33	0.33											
練馬区			2.20	2.20	1.20		0.80	1.60				0.60	0.20				
足立			1.25	3.50	0.75	0.25		0.75			0.50	0.50					
葛飾			3.25	7.50	3.50	1.25	0.50	0.75			0.50		0.75				
江戸川		1.75	3.00	4.75	3.00	0.50	0.25	1.00			0.25		0.25			0.50	0.25

保健所別累計表 (定点当り) 2003年 21週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
多摩川			3.00	2.00	3.67			1.33					0.33				
秋川			5.50	7.00	2.00								1.00				
八王子		1.00	1.00	1.00	1.00		0.50				1.50		0.50				
南多摩			1.00	8.00	1.67	0.33		1.67			1.33	0.33					
町田			0.50	12.50	1.50								0.50		5.00		
多摩立川			0.50	1.50	0.50							0.25	0.25				
村山大和			1.00	8.00	0.50		0.50								2.00		
府中小金井				1.00				0.33									
狛江調布			0.33	3.00	0.33	1.00		0.67				0.33	0.67				
三鷹武蔵野			1.00	2.25	1.50			0.50					1.00				
多摩小平			1.33	6.33	1.33	0.33		1.33									0.33
多摩東村山			0.67	8.00	1.33	1.00	1.00	0.67							1.00		
島しょ								3.00									

東京都合計	-	31	149	586	131	100	29	83	-	5	18	19	26	-	57	6	5
定点当り報告数	-	0.22	1.05	4.13	0.92	0.70	0.20	0.58	-	0.04	0.13	0.13	0.18	-	4.07	0.04	0.04

破 傷 風

東京都医師会感染症予防検討委員会

破傷風は、破傷風菌の芽胞が創傷部位などから侵入し、組織内の嫌気的な状態で発芽増殖して産生する破傷風毒素によって起こる神経刺激伝達障害である。治療が遅れると致命率が高い。

創傷近くの筋肉や顎から頸部のこわばり、開口障害、痙攣、嚥下困難、呼吸困難、後弓反張などの特徴的な臨床症状による的確な診断と早期治療開始が極めて重要である。

1950年には届け出患者1,915人、死亡者1,558人と致命率が高く、死亡者の過半数は15歳未満の小児であった。

1953年の破傷風トキソイド任意接種導入、1968年のDPT定期予防接種開始により破傷風の患者・死亡者数は減少し、1980年代後半以降は年間30～50人前後で、その20～60%が死亡する状況が続いていた。

感染症法施行後は1999年(4～12月)65人、2000年92人、2001年80人、2002年107人(暫定数)と患者報告数は増加傾向にあるが、定期接種を受けている30代前半までの年齢層での増加はみられず、患者の大部分は接種を受ける機会が少なかった35歳以上で、特に中高年が多い。

破傷風予防のためには繰り返しワクチン接種を行い、発症を阻止できるレベルの破傷風毒素に対する中和抗体価を保つ必要がある。受傷時の破傷風発症予防には抗破傷風ヒト免疫グロブリンと破傷風トキソイドが用いられる。基礎免疫が完了していれば交通事故など予期せぬ外傷を受けた場合でも直ちに追加接種を行えば、抗体価の上昇による発症予防が期待できる。

(文責・山下和予)